

さいかい産業 温度測定データ

SS-10

試験概要

試験目的	最大燃焼時における付近可燃物の表面温度の計測						
試験機	SS-10		製造番号 2018-00901				
試験燃料	上伊那森林組合 ピュア1号						
測定器	サーモカメラ(インフレックR550) 温度計 (TM-925) ・ ・ ・ 底面測定のみ使用						
可燃物	構造用合板9mm厚						
測定者	加賀田優織						
測定場所	(株)新越ワークス E G 事業部内						
燃焼状態	本試験においては、燃料投入量・空気調節レバーを最大にした状態で感震装置を無効にし過熱熱防止センサーを有効とした。						
測定方法	1. ストープ周囲に可燃物を設置						
	2. ストープを燃焼させ、可燃物の温度上昇が無い事を確認し温度を計測						
	測定距離①	炉面	正面	左側面	右側面	上面	背面
	(cm)	—	100	30	30	60	10
	3. ストープの可燃物の距離を縮め再度温度測定。						
	測定距離②	炉面	正面	左側面	右側面	上面	背面
	(cm)	—	60	10	10	30	10
測定日時	2019年8月5日						
	9:45	燃焼開始					
	13:30	測定距離①温度測定 測定時気温27℃					
	15:30	測定距離②温度測定 測定時気温28℃					

■平成14年消防庁告示1号に基づく離隔距離の短縮

規定	内容
平成14年消防庁告示1号	周囲の壁の表面温度が100℃を超えない距離や引火しない距離を確保する等の措置を講じれば離隔距離を短縮することができること（室温35℃条件）

当社では上記規定に基づいて離隔距離の短縮を図る目安として、周囲の壁の表面温度が100℃未満となる距離として下記距離を確認しております。ただし、当該距離の設置適用に関しては各消防署長の判断となるため、設置場所を管轄する消防署の確認が必要です。

さいかい産業自社基準の離隔距離

機種	離隔距離 (cm)			
	正面	側面	上面	背面
SS-10	100	30 ※1	60	10

※1・・・コーナー設置時においてはタンク部から可燃物までの最短距離が10cm以上とすること。

SS-10温度測定結果

測定位置	離隔距離① (c m)	最高温度 (°C)
炉面	—	470
正面	100	87
左側面	30	68
右側面	30	58
上面	60	57
背面	10	49
底面	—	31
給排気管	—	99
背面裏	—	38
測定時の室温 (°C)		27

測定位置	離隔距離② (c m)	最高温度 (°C)
炉面	—	489
正面	60	145
左側面	10	106
右側面	10	107
上面	30	72
背面	10	46
底面	—	27
給排気管	—	103
背面裏	—	45
測定時の室温 (°C)		28

測定状況

検証状態の写真（離隔距離①）



検証状態の写真（離隔距離②）



炉面・側面・上面の検証状態



底面の検証状態



背面の検証状態



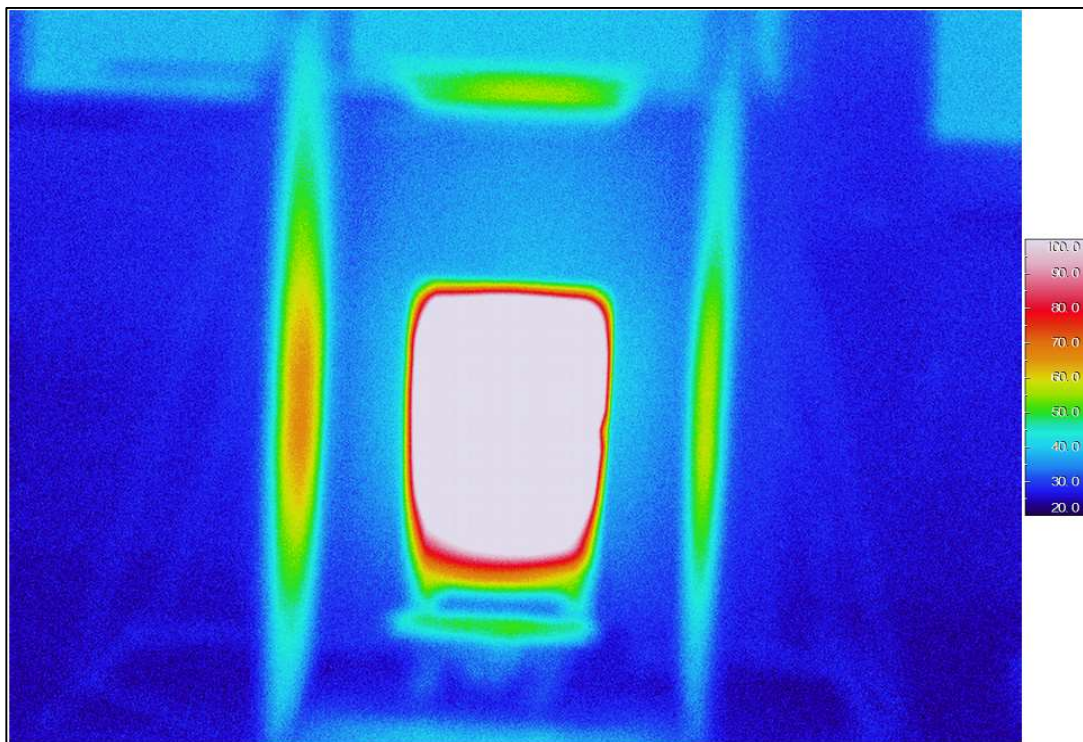
裏面（給排気管）の検証状態



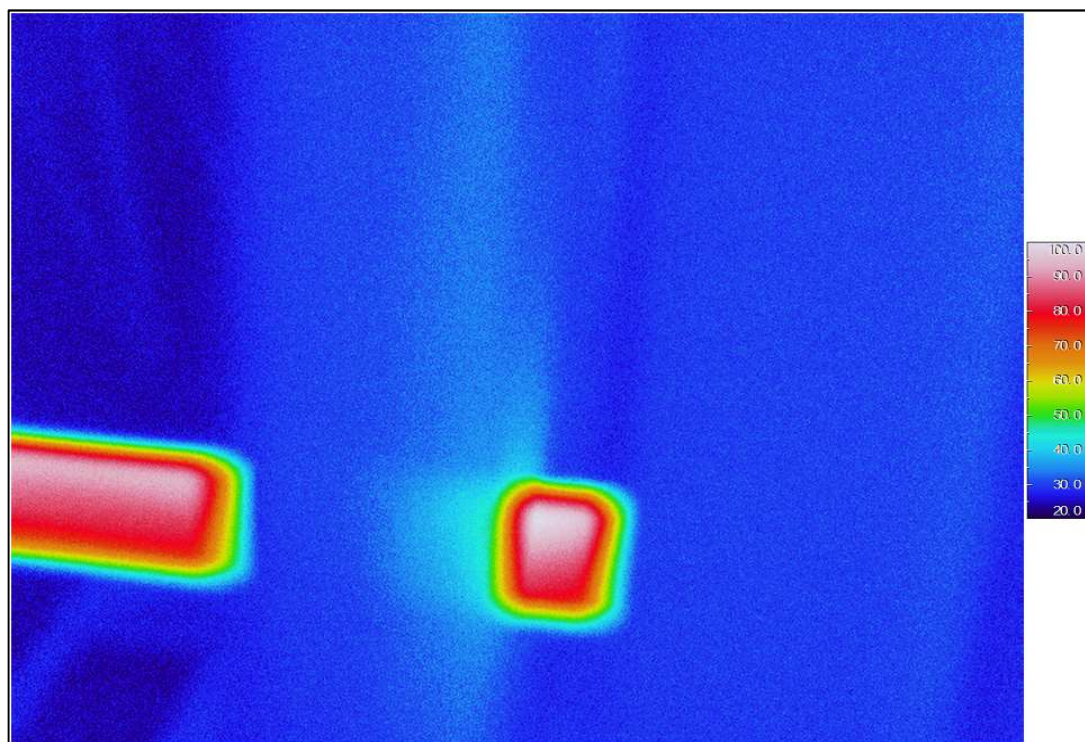
サーモ画像

離隔距離①

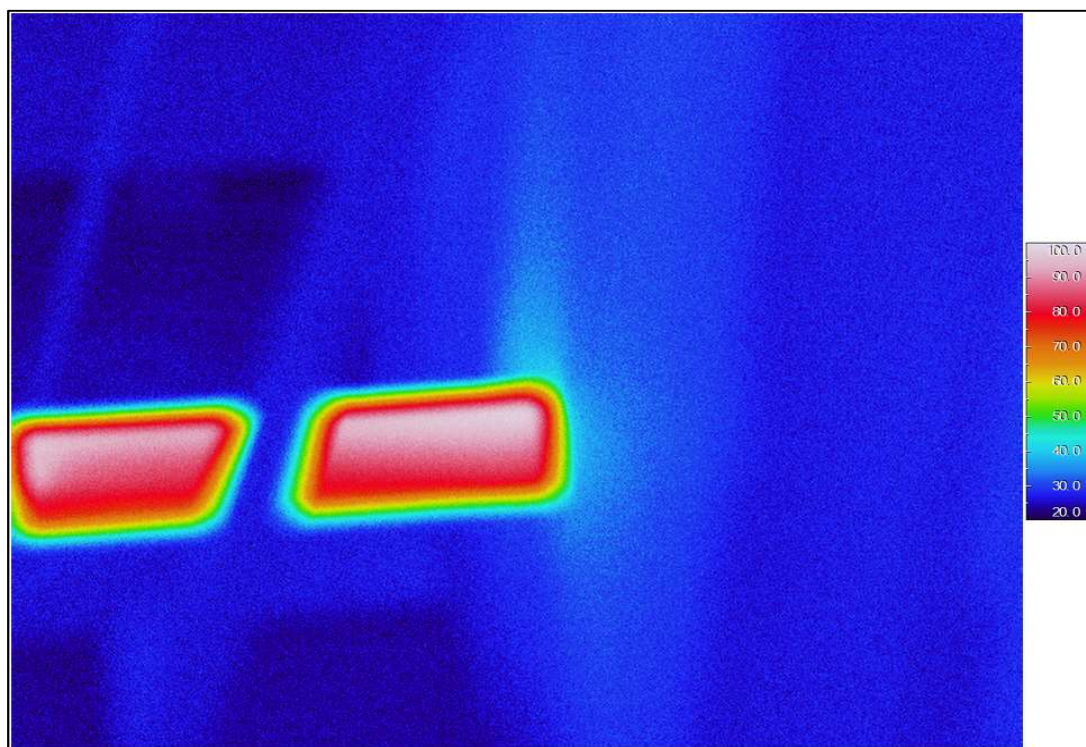
炉面・左右側面・上面の測定時の熱画像



背面の測定時の熱画像

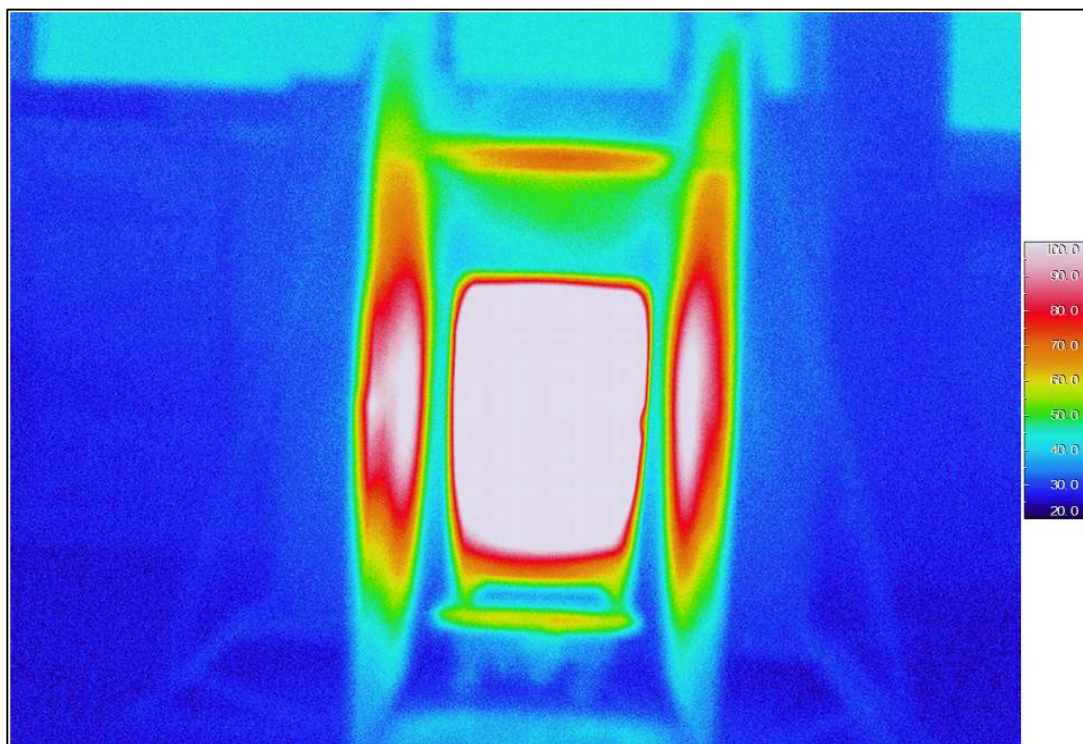


給排気管・背面裏の測定時の熱画像

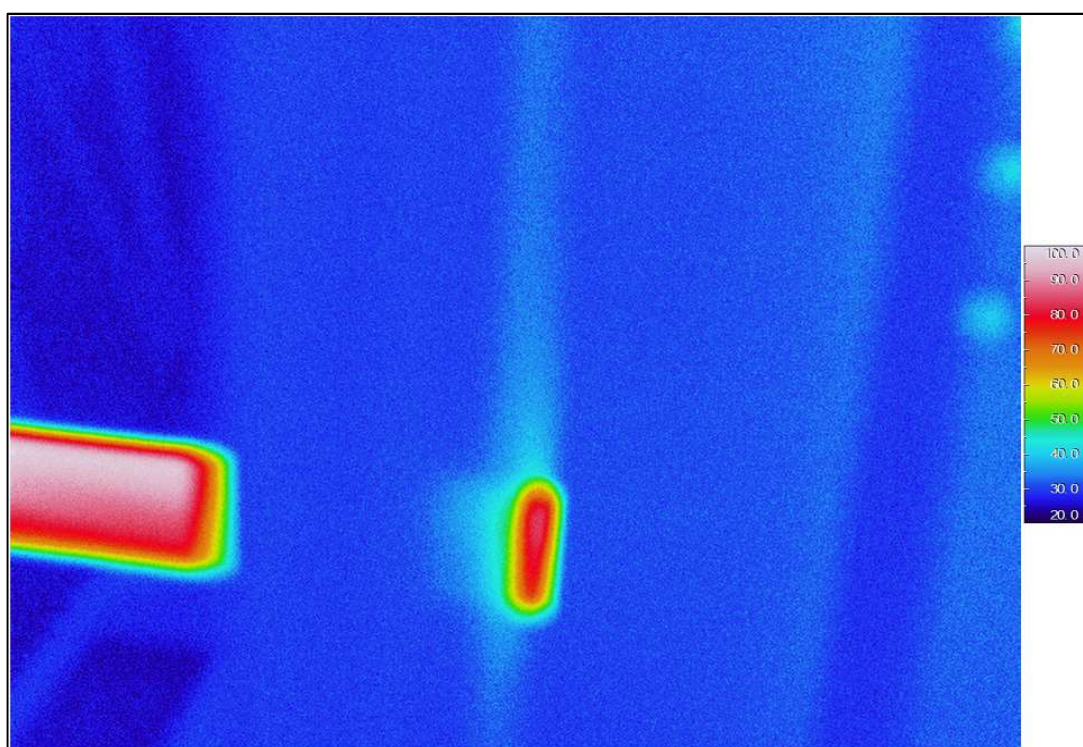


離隔距離②

炉面・左右側面・上面の測定時の熱画像



背面の測定時の熱画像



給排気管・背面裏の測定時の熱画像

